

「アセットオーナー・プリンシプル」の取組方針の進捗状況について

「アセットオーナー・プリンシプル」の取組方針の進捗状況について

1. 運用目的に合った運用目標及び運用方針

- KKRは、年金の積立金の運用において、各種法令等や財務大臣承認を受けて制定した管理運用の方針に基づき、組合員等の受益者の利益のため、運用目的、運用目標等を定め、長期的な観点から、安全かつ効率的に運用を行っています。主務大臣告示の一部改正を受け、管理運用の方針の一部変更を行い公表しています。（2025年4月1日付）
（主な変更内容）
 - ・運用目標について、将来合理的に期待できる運用利回りの水準を踏まえ、実質的な運用利回り1.9%の確保を追記。
 - ・非財務的要素の考慮に、社会・環境的効果（インパクト）を追記、検討した上で、必要に応じて取り組みを行う。
 - ・スチュワードシップ責任について、サステナビリティ（ESG要素を含む中長期的な持続可能性）の考慮を追記。
- 基本的な方針、運用手法等を明示するため、投資原則を新たに策定し、公表しました。（2025年4月1日付）
- 職業倫理の向上のため、既存の行動規範を見直し、改訂した上で公表しました。（2025年4月1日付）

2. 運用目標・運用方針に照らして必要な人材確保・体制整備

- 運用担当責任者の権限の明確化を図り、市場の変化に対し機動的に対応できるように体制整備を実施しています。理事等による監督の下、専門人材によるCIO（運用担当責任者）を設置し、小西昭博が就任しています。
（2025年4月1日付）
- 所要の手続きを行い、適格機関投資家となりました。（2025年4月1日付）
- 人材の確保については、経験者採用を適宜実施するほか、職員の育成においては、内部職員による勉強会・セミナーの実施、証券外務員資格の取得奨励、証券アナリスト等の資格取得支援に取り組んでいます。

「アセットオーナー・プリンシプル」の取組方針の進捗状況について

3. 運用方法の選択、投資先の分散をはじめとするリスク管理、最適な委託先の選定・見直し

- 運用方法の選択、投資先の分散のため、運用受託機関の選定にあたっては、原則としてマネージャー・エントリー制を活用し、常時、比較検討を行います。知名度や規模のみで判断しないようにするため、採用基準において、規模（受託額実績、従業員数）や業歴（業務経験年数）に関する要件を撤廃しています。（2024年10月1日付）
- 投資対象の多様化を踏まえ、オルタナティブ投資について、現状、厚生年金の管理運用の方針で定めている積立金残高の1%の制限を他の管理運用主体と同様の5%に拡大しています。（2024年7月1日付）

令和7年度事業計画において、新たな投資対象として、プライベートエクイティへの投資を計画しています。時間分散をはかりながら、着実にオルタナティブ投資を進めていきます。

- 資産運用業務に対するけん制機能を高めるため、実際に運用を行っている資金運用部から独立した組織として「運用リスク管理室」を設置しています。
- 基本ポートフォリオに基づく運用リスク管理を根幹とし、市場リスク、流動性リスク、信用リスクなど各種リスクの管理について、資産構成割合の基本ポートフォリオからの乖離状況のほか、VaRやストレステストによる下方リスクの把握など、複線的なリスク管理を行っています。

リスク管理ツールを活用したリスク管理・パフォーマンス分析の充実化やオルタナティブ投資の対象拡大など投資対象の多様化に伴うリスク管理項目の見直しなどに向けた取り組みについては、現在、定例モニタリング資料の見直し・拡充を行うとともに、外部のコンサルティング会社による品質管理を受けているところです。引き続きポートフォリオ全体のリスクを適切に計測・把握できるよう、リスク管理の強化を進めていきます。

「アセットオーナー・プリンシプル」の取組方針の進捗状況について

4. 運用状況についての情報提供（「見える化」）

- 資産運用委員会の運用状況についての情報提供（「見える化」）の一環として、議事次第、議事要旨のほかに、7年後に議事録を公表する取扱いに変更し、議事録を作成しています。（2024年10月以降開催の委員会から適用）
- 国家公務員等の組合員向け広報誌に定期的に運用状況のほか、アセットオーナー・プリンシプルについて、オルタナティブ投資、ポートフォリオ見直し等の記事を掲載しています。
- パネルディスカッション等のイベントへパネリストとして職員が登壇することや、新聞等のインタビューに応じているほか、マスコミ等からの取材対応について、丁寧な対応、情報提供を行い、運用担当者の見える化を進めています。

5. スチュワードシップ活動の実施、投資先企業の持続的成長に資する必要な工夫

- 2024年3月には、PRI（責任投資原則）の署名機関となっており、10月には、トロントで開催されたPRI in Person 2024に現地参加し、気候変動に対する課題等、最新動向の把握や情報収集を行いました。
- KKRでは、運用受託機関を通じてスチュワードシップに関する取組みを行っています。サステナビリティ（ESG要素を含む中長期的な持続可能性）を考慮した投資先企業とのエンゲージメントなどのスチュワードシップ活動の状況について、ミーティングなどを通じてモニタリング等を行い、スチュワードシップ活動報告として取りまとめ、公表しています。（2025年3月28日付）

「アセットオーナー・プリンシプル」の取組方針の進捗状況について

(参考) 資料リンク先

- ・「アセットオーナー・プリンシプル」の受入れについて
https://www.kkr.or.jp/shikin/aop_ukeire.pdf
- ・「アセットオーナー・プリンシプル」の取組方針について
https://www.kkr.or.jp/shikin/aop_torikumi.pdf
- ・2025（令和7）年4月からの年金資金運用体制整備等の変更点について
<https://www.kkr.or.jp/shikin/nenkinshikintaiseiseibiR7.pdf>
- ・厚生年金保険給付積立金の管理運用の方針
https://www.kkr.or.jp/shikin/kounen_unyouhousin_R7.pdf
- ・投資原則（厚生年金保険給付積立金）
https://www.kkr.or.jp/shikin/tousigenosku_kounenR7.pdf
- ・年金積立金の運用業務に従事する役職員・資産運用委員会委員行動規範
<https://www.kkr.or.jp/shikin/koudoukihanR7.pdf>
- ・マネージャー・エントリー制 運用マネージャーの登録基準について
<https://www.kkr.or.jp/shikin/investment-me-bessi01.pdf>
- ・令和6年度スチュワードシップ活動の報告（概要版）
https://www.kkr.or.jp/shikin/sustainable-finance/Stewardship_Activities_Summary2025.pdf
- ・令和6年度スチュワードシップ活動の報告（全体版）
https://www.kkr.or.jp/shikin/sustainable-finance/Stewardship_Activities2025.pdf
- ・令和6年度業務概況書【厚生年金保険給付積立金】
https://www.kkr.or.jp/shikin/r06_4q_k.pdf



<https://www.kkr.or.jp/shikin>